

# チリメンモンスターのなかまたちに名前を教えてください！

チリメンモンスターを分類して同定して、名前を教えてください。



**きみのチリモンもチェック!**

写真を撮って、チリモンをチェックして、図鑑に登録しよう。

チリモン画像を投稿する

しらべて投稿する

とくちょう特徴からさがす

とくちょうさが 特徴から探す

名前・データからさがす

- ① チリメンモンスターたちをトレーや白い紙に広げ、重ならないように広げましょう！
- ② ルーペや双眼実体顕微鏡などを使って、それぞれの特徴を観察する。  
先生の作った資料や chromebook で「チリメンモンスター」で検索してみましょう。  
Google レンズとかでも検索できるかな？
- ③ チリメンモンスターたちの特徴から、魚類・甲殻類・軟体動物・その他などに分類する。
- ④ 分類が終わったら写真を撮ってね！  
※注意 賞味期限切れなので食べてはいけません。甲殻類アレルギーの人は別の実験をしましょう！

名前がわかったチリモンたち（名前も書いてあげてくださいね。）

魚類	軟体動物
甲殻類	その他

1年 組 番 氏名

# チリメンモンスターのなかまたち

○魚の幼生（こども）

・タイのなかま ・アジのなかま ・ヨウジウオのなかま ・コチのなかま ・エソのなかまなど



カタクチイワシ (チリメンジャコ)



エソ



コバンザメ



シロギス?



ハダカイワシの仲間



コチ



イソギンポの仲間



カマス



タチウオ



カワハギ



アジ



アイゴ



テンジクダイ



フグ



ヨウジウオ

○タコ・イカの幼生（こども）



タコ



イカ



タツノオトシゴ

○アミ : おとなもプランクトン生活をする、エビに似た動物。



エビのこども (ソエアが成長したもの)



アミ

○ソエア : カニ・エビのなかまの幼生 ⇒ ○メガロパ : カニ・エビの幼生で、ソエアが成長したもの。



カニ・エビのこども【ソエア】



ジャコ



カニダマシ



カニのこども【メガロパ】  
(ソエアが成長したもの)

# チリメンモンスターを同定しよう

## チリメンカード図鑑

チリメンを見つくと、何の種類か知りたくなるよね。そんなときは、このチリメンカード図鑑で調べてみよう！ きみが見つけたチリメンがあるかもしれないよ！

### カード図鑑の見方

**チリメン名**  
種名までわかっているものは種名を、わからないものは、何のなかまかが書いてあるよ。

**チリメンデータ**  
大きさ、めだつところ（見分け方のポイント）だ。大きさは、写真のチリメンのいちばん長いところの長さ。

**チリメンメモ**  
種類や、なかまの特徴が書いてあるよ。



**レア度**  
めずらしさは5段階でしめしてあるよ。とくにめずらしいチリメンは、レア度5(☆☆)のレインボーカードになっている！

**チリメン写真**  
チリメンの写真だよ。

**おとなの写真**  
おとなになったチリメンやそのなかまの写真。ないものもあるよ。

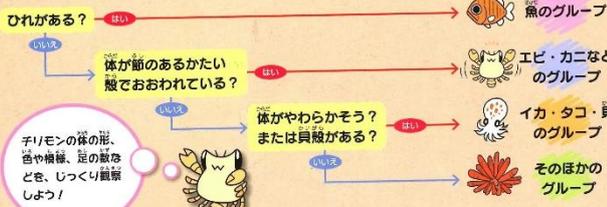
**グループ分け**  
チリメンの大きなグループ分けが書いてある。グループごとに、カードの色がちがっているよ。

### 調べ方のポイント！

チリメンの種類を調べたいときは、まず、そのチリメンが、おおまかに海の生き物のどのグループのものかを知ることが大切だ。この図鑑では、魚のグループ、エビ・カニなどのグループ（節足動物）、イカ・タコ・貝のグループ（軟体動物）、そのほかのグループと、大きく4つのグループに分けている。

下のチャートを参考に、チリメンの特徴から、グループを調べよう。そして、チリメンの写真を見て、形が近いものをさがす。似ているチリメンがあったら、チリメンデータやチリメンメモを見て、たしかめよう。

### ●チリメンのグループ分けチャート



チリメンの体の形、色や模様、足の数などを、じっくり観察しよう！

**アナゴ・ハモ** レア度☆☆☆☆

●30mm  
●白く、柔らかい体

アナゴやハモ、ウナギなどのなかまは、透明で平たく、幅広い体のレプトケファルスという幼生の時期をすごす。

**カタクチイワシ** レア度☆☆☆☆

●26mm  
●チリメンジャコはなま魚

成魚の体長は14cmほど。細長く筒筒形の体。口は腹の下のほうにくく、大きな群れをつくらせて泳ぎ、おもに動物プランクトンを食べる。

**ゴンズイ** レア度☆☆☆☆

●13mm  
●大きな口にはだらら模様

ナマズに近いなかま。まるく密着した群れをつくることが多く、その様子を「こんずい」とよぶ。青びれと胸びれに帯があり、刺されるととても痛い。

**エノコギリ** レア度☆☆☆☆

●21mm  
●カタクチイワシのチリメンに色が似ているが、尾いぼでちがう。

遠い海の砂や泥の海底にすむ。細長い筒筒形の体で、鼻先が短く口が大きい。口の中は小さな歯がならんでいる。

**エノコギリ** レア度☆☆☆☆

●83mm  
●目が大きい。細長い体

エノコのなかまは、甲殻類や小魚などの小動物を食べる。小魚が多いが、かまぼこなどの練り製品の材料としては高級品。

**ボラ** レア度☆☆☆☆

●23mm  
●紫色に発光するさび

大きくて丸い口は背の前方になる。種食性はほとんどが魚でくらすが、幼魚のときに川や河口にすむものもいる。

**マツカサウオ** レア度☆☆☆☆

●15mm  
●とっこつした大きなうろこ

成魚の体長15cmほど。大きくかたいうろこにおおわれ、まっつくりのうろこ体。ふあごの一種がハクアリアにより発光する。

**アノヤガラ** レア度☆☆☆☆

●55mm  
●大きな長い口と細長い体

体が長く、口も長く小動物を喰いこんで食べる。日本沿岸ではアノヤガラとアノヤガラの2種がみられ、アノヤガラは高級品とされる。

**ヨウジウオ** レア度☆☆☆☆

●87mm  
●細長い体

細長い口はたく、口先が長い。なかまのタツノオトシゴとおおしく、イソがおなかのぼくことも持っている。

**タツノオトシゴ** レア度☆☆☆☆

●8mm  
●魚には見えない独特の体つき

熱帯から温帯の浅い海にすむ。体はかたい。尻をサンゴや海藻にきまつけて体を固定し、甲殻類などを目で喰いこむようにして食べる。

**オスガこどもを産む** レア度☆☆☆☆

●10mm  
●産むとき、たてに平たい、長く小さい

海産にくらす。体はまったく大きい。コナヒメという卵を産む。産むとき、たてに平たい、長く小さい。

**カサゴ** レア度☆☆☆☆

●13mm  
●ムツとしたような大きな口。ひれにはとげがある

成魚は25cmほどになる。さよろつと目も大きく、口のまわりのとげが特徴的。熱帯の海中で生活させてから、こどもを産む。

**イボタイ** レア度☆☆☆☆

●28mm  
●鼻先が短い。たけのこ形の体

成魚の体長20cmほどになる。クダや小魚の甲殻類などを食べる。日本海でよくとれ、食用とされる。

**アカタチ** レア度☆☆☆☆

●9mm  
●大きな角ばった頭に、細く小さい体がある

成魚は体長40cmほど。うすい茶色の細長い体をしていて、赤いタチオという魚卵の名前が、近いなかまではない。小魚やコイタを食べる。

**アマダイ** レア度☆☆☆☆

●22mm  
●目はまるく、体は尻の先にむかして細くなる

体は細長く、青びれとしりひれが長い。頭がはまっている。砂や泥の海底に穴をくらしてすむ。高級魚としてあつかわれている。

**タイワンイカサコ** レア度☆☆☆☆

●27mm  
●紫色がかかった細長い体

成魚の体長は12cmほどで細長い。砂の底に穴をくらして、夜間だけ出てきて餌をくらす。イカサコとちがいは鼻と胸びれがあること。

**ニシギンボ** レア度☆☆☆☆

●10mm  
●たてに平たい。鼻と大きな目

成魚の体長は11cmほど。磯や内湾の浅場にくらして、岩のすき間を利用して産卵する。気が強く、近づくと大層に威嚇してくる。

**イソギンボ** レア度☆☆☆☆

●13mm  
●まるみをおぼた顔は黄色っぽく、体は白い

イソギンボのなかまの多くは、体長10cm前後の小さな魚。世界じゅうの温帯から熱帯の浅い海にいて、潮だまりでも見られる。

**カマス** レア度☆☆☆☆

●24mm  
●口先がとがり、するどい歯がのびてく、先のとがった大きな口と細長い体。イワシなどの魚を食べ、反響的な性格といわれる。肉はおいしく、とくに一夜干しは高級品。

**シロギス** レア度☆☆☆☆

●14mm  
●口先がとがり

成魚の体長は20cmほど。肉質の砂地に小さな群れでくらす。このなかまは浅い砂地の海の底のまわりによって群がっている。

**アマダイ** レア度☆☆☆☆

●22mm  
●目はまるく、体は尻の先にむかして細くなる

体は細長く、青びれとしりひれが長い。頭がはまっている。砂や泥の海底に穴をくらしてすむ。高級魚としてあつかわれている。

**ギンガギ** レア度☆☆☆☆

●28mm  
●大きなおなか

成魚の体長20cmほど。平たくくさくさの体は海産のまわりでくらす。肉はおいしく、とくに一夜干しは高級品。

**コハンサメ** レア度☆☆☆☆

●87mm  
●頭には小魚の足跡がある

名前がにめつとつ、まっくらがラスメ目の魚。頭の小魚の足跡が、リマヤツ、ウツメなどの大型の動物につくって、食べるのを食べる。

**タチウオ** レア度☆☆☆☆

●30mm  
●白く細長い体。とがった口

ひらひら光る細長い体にして、するどい歯を持っている。海底近くで餌をくらして立ち泳ぎをしていて、小魚などを下から食べている。

**サバ** レア度☆☆☆☆

●13mm  
●ややとがった大きな口

成魚の体長50cmほど。イワシの産卵をくらす。海産のまわりでくらす。肉はおいしく、とくに一夜干しは高級品。外海から輸入している。

**スズメダイ** レア度☆☆☆☆

●9mm  
●頭がかかった体

磯やサンゴ礁にすみ、小動物を食べる。熱帯から温帯の浅い海にいて、磯やサンゴ礁にすむ。肉はおいしく、とくに一夜干しは高級品。外海から輸入している。





# 千リモンがささえる海の生き物

海にいたときの千リモンや千リメンジャコは、大きな生き物に食べられ、その生き物はもっと大きな生き物に食べられる。生き物たちは「食べる、食べられる」の関係で、おたがいがかわりあってくらししている。だから、海に千リモンたちがいないと、ほかの生き物もくらせないんだ。

小魚やカニをねらう  
アオサギ

浜辺や干潟、磯、河口などにも、貝など、さまざまな生き物がすむ。海の生き物の産卵場所としても大切な場所だ。

浜辺や干潟の小さな生き物を食べるシギやサドリ

海の生き物は、わたしたち人間にとっても、大切な食べ物になる。

カニやフナムシをねらう  
イソヒヨドリ

小さな生き物は、川から流れこむ、よこれのもとをきれいにしてくれる。

川で生まれて、海で小さな生き物を食べて育つサケ

水辺のカニや貝は、鳥たちのくらしをささえている。

漁や釣りのおこぼれをねらうウミネコ

磯は、小さな生き物たちのかくれ場所がたくさんある大切なすみかだ。

大きなクジラのなかには、オキアミなどの小さい生き物だけを食べるものがある。

シラス漁の船

小魚を食べるウミウシ

アオウミガメはクラゲを食べる。

小魚をとらえるクラゲ

回遊するイワシの稚魚

チリメンジャコになるイワシの稚魚は、海面近くで大きな群れをつくる。その稚魚をねらって、アジやサンマ、カツオなどの魚があつまってくる。

カツオ

海面近くの小さな生き物を食べるトビウオ

トビウオをねらうシイラ

サンゴやイソギンチャクのなかには、体内に小さな藻のなかまをすまわせて、光合成でできる栄養をもらっているものもいる。

マグロ

サメやマグロ、カツキなどの大きな魚は、カツオやサンマなどの魚をねらう。

大きな魚などにくっついて、おこぼれをもらうコバンザメ

海藻や海草は、生き物たちの食べ物であり、すみかでもあるんだ。

産卵するアオリイカ

ウニをねらうサメ

ツノムシを食べるサメ

サメをねらうサメ

サメを食べるサメ

サメの赤ちゃん

サメのおそろい

深海にも、たくさんの生き物がささえあってくらししているよ。

死んだ魚の肉を食べるサメ

口の中で卵をふ化するまでを守るサメ

死んでしまった生き物は、ほかの生き物の大切な食べ物になるほか、海藻や海草の栄養になる。

つぎつぎ生まれる子どもたちは、ぜんぶがおとなになるわけではないよ。ほとんどもは、ほかの生き物に食べられてしまう。

ハダカイワシをねらうコウモリザメ

深海で小さな生き物を食べるハダカイワシ

頭のにせのえさで小魚をおびきよせるアンコウ

メスは、おなかの中で卵をかえし、赤ちゃんとして産む。

産卵するサメ